

## 「しいたけの菌床栽培、菌床ブロックの販売への取り組み」

### ● 訪問企業の概要

運営建設企業：久保興業株式会社

所在地：内子町（南予） 資本金：40 百万円

業 種：土木工事業 従業員：70 名



#### (1) 進出した新分野の事業内容、時期

- ・ 農業分野（しいたけの菌床栽培）（平成 19 年 6 月～）

#### (2) その分野を選定したきっかけ・理由

- ・ しいたけ栽培が盛んな地域であり、当初は遊休農地を活用した露地栽培を検討したが、各所を視察し、検討を重ねた結果、より収益幅の大きい菌床栽培（施設栽培）を行うこととした。

- ・ 菌床栽培を選んだ理由としては、①無農薬で栽培できること、②地域で実績があり、技術導入が容易であること、③通年で生産でき、天候の影響を受けにくいいため収穫が安定していること、等が挙げられる。

### (3) 事業・技術・製品の特長

- ・ 安心安全の食材を提供することに加え、CO<sub>2</sub>削減にも取り組み、日本初のしいたけの「カーボンフットプリント」認証を取得したほか、再生資源利用にも積極的に取り組む等、環境面にも配慮した事業活動を行っている。

### (4) 進出時の体制

- ・ 菌床製造プラント 1 棟 (200 m<sup>2</sup>)、培養棟 4 棟 (800 m<sup>2</sup>)、発生棟 4 棟 (800 m<sup>2</sup>)。
- ・ 年間菌床ブロック製造個数 15 万個。
- ・ JA に出荷し、委託販売をした。
- ・ 専従従業員数 6 名。

### (5) 事業の経過

- ・ 平成 20 年に選別棟 (80 m<sup>2</sup>) を新設し、培養・発生兼用棟 1 棟 (240 m<sup>2</sup>) を増築する。
- ・ 年間菌床ブロック製造個数 30 万個。
- ・ 専従従業員数 12 名。
- ・ JA への委託販売から県内スーパー及び大阪の市場等への出荷販売に転換。
- ・ 平成 20 年愛媛県優良循環型事業所に認定される。
- ・ 平成 22 年度愛媛県建設産業経営革新等助成事業補助金を利用して、カーボンフットプリントの認証を取得する。
- ・ 平成 24 年認定農業者となる。
- ・ 平成 24 年農業近代化資金を利用して培養発生棟 4 棟 (400 m<sup>2</sup>) を増築する。



**(6) 苦労した事柄、解決策**

- ・ 当初、栽培方法についてのノウハウが乏しかったことから、技術習得のために栽培している農家を訪ね指導を受ける等、試行錯誤を重ねた。
- ・ 販路の開拓・確保にも苦労したが、これについては愛媛県大阪事務所の協力も得て、徐々に開拓することができた。
- ・ 需要の多い冬場と少ない夏場では生産量が大きく異なる中で、設備や熟練の従事者は年間を通じて確保しておく必要があることから、設備や雇用の水準をどの時期の生産量に合わせるかが難しいところである。

**(7) 新分野従事者の属性**

- ・ 専従従業員数 12 名

**(8) 愛媛県建設産業経営革新等助成事業以外に活用した公的助成制度**

- ・ 日本政策金融公庫の農業近代化資金。

(9) 現在の売上、今後の見通し

- ・ 現在月産 8～10t。年間菌床ブロック製造個数 30 万個。県内スーパー、大阪の市場等に出荷。
- ・ 平成 25 年 6 月に県内スーパーとの共同出資により農業法人を設立し、今後販売量の更なる拡大を目指す。
- ・ 平成 25 年 11 月より菌床ブロックの販売を開始、月間 12 千個の売上がある。

